



三郷市立栄中学校だより

澆刺颯爽 栄中

平成30年10月1日
第6号

生徒数 1年102名 2年110名 3年129名 計341名

目指す生徒像

礼儀正しく、
本気でやり遂げる
生徒
～あはは学校～

2020年東京オリンピック・パラリンピック教育

スポーツの秋 トップアスリートに学ぶ

校長 中村 和美

人生は自分が主人公の物語 芦田創選手(トヨタ自動車)

パラリンピック陸上競技選手・リオオリンピック4×100mリレー銅メダリスト・走り幅跳び日本記録保持者

芦田選手は、右腕の障害がありながらも高校進学後も陸上競技を続けました。右左の腕で約2kg違うため体のバランスが崩れやすく怪我との戦いの毎日でした。「腕が健常だったら、もっとタイムも速いはずなのに……」仲間と同じ練習メニューをこなしているのに記録が伸びず、自分にハンデがあることが悔しくてしょうがなかった高校時代。初めて出場したパラリンピックでは日本新記録をマーク(400秒走)。



自己ベストに及ばない記録で優勝できてしまったことで張り合いがなく、やる気スイッチが完全に切れたそうです。大学に進学するも真剣に陸上に取り組むことなく、3年間全く記録が伸びなかった日々。そんな時、芦田選手に当時の監督から「お前は障害に甘えている」と叱咤(しった)されます。「お前はパラの選手かもしれないが一流のアスリートではない。一流のアスリートっていうのは障害があるかどうか関係なく、人々を魅了するパフォーマンスができるんだ」この言葉にずっと人生隣合わせだった右腕から色んなことを学んできたことに気づき、初めて障害を誇りに思い、やる気スイッチがはいったそうです。

明るく語る芦田選手の背景には、彼を支えた周囲の人々の大切さとともに、ありのままの自分を受け入れ、新たな目標に向かって前向きに生きることの大切さを教えてくれました。『人生は自分が主人公』他人と比較して自分を評価するのではなく、いかなる逆境にあっても投げ出すことなく自分ができる努力を続けること、叶わないかもしれないけれど、夢に向かって努力することの素晴らしさを語っていただきました。

芦田先生は右手に障害を持っているのに「自分の右手がどうなってもいいから自分の好きなことをやろうと陸上を始めた」と言っていました。私は自分でやりたいことをあきらめずに何度も挑戦してすごいと思いました。(1年女子)

今日は、新人戦も近いのでとても良い話を聞くことができたなと思いました。一番心に残った言葉は『人生は自分が主人公の物語です』という言葉です。だから自分でこの人生がよい物語になるように、思い切り頑張ろうと思います。又「自分にあったトレーニングをこつこつと積み上げていくことが大切だ」という言葉では、練習を工夫して自分の体に合わせて行うことの大切さを知りました。(2年男子)

今日はすごくいろいろなことを学びました。一番ぼくの心に残った言葉は2つあります。1つめは『何かを言い訳に自分の限界を決めてはいけない』と言うことです。ぼくは怪我が多く言い訳をすることが多いので、限界を自分で決めずできる努力を全力で頑張りたいと思います。もう一つは『夢をあきらめない』と言うことです。いろいろ辛いことがあってもあきらめずに全力で頑張ろうと思いました。(3年男子)

10月 勉強の秋 運動の秋...

日	曜日	学校行事等
1	月	集金日 完全下校時刻17:30
2	火	拡大中央委員会
3	水	第3回フェスタ委員会
4	木	駅伝市内予選
5	金	小学校公開
6	土	英検
7	日	
8	月	祝日 体育の日
9	火	火
10	水	2年職場体験実習 水 新和小体験授業
11	木	2年職場体験実習
12	金	2年職場体験実習
13	土	
14	日	
15	月	教育支援担当・学力向上推進担当学校訪問
16	火	専門委員会 完全下校時刻17:00
17	水	諸活動停止
18	木	授業エキスパート
19	金	中間テスト 中央委員会 フェスタ準備 ふれあいデー
20	土	栄中フェスタ
21	日	三郷市市長選挙
22	月	全校朝会・生徒朝会 冬服完全実施 花咲かせ隊 月 安全点検日
23	火	小中陸上親善大会
24	水	
25	木	
26	金	
27	土	漢検 三郷市文化祭(吹奏楽部出場)
28	日	
29	月	
30	火	
31	水	保健体育科研究授業 金曜授業

今回の避難訓練は、地区別に分かれてから一斉下校をしました。「自分の身は自分で守る」がまず第一です。

埼葛テスト(3年)
1・2年課題テスト
(1・2年)

9月5日(水)



夏休みの勉強の成果を発揮することができましたか?

始業式・表彰集会

9月3日(月)



生徒会代表 荒木 陸空くん
1年生代表 石井 桜美さん
2年生代表 藤井 保乃加さん
3年生代表 小野 陽葵さん

花咲かせ隊

9月3日(月)



発育測定

避難訓練

9月4日(火)



市内英語弁論大会

9月5日(水)
鷹野文化センター



見事入賞しました。

育成会理事会 町会長会議 PTA理事会 フェスタ委員会

9月7日(金) 9月12日(水) メディアセンター



校内研修

9月10日(月)

栄中の学力向上に向けて、先生方の研修会が行われました。

吉川美南高校の嶋村先生を講師に、「知識構成型ジグソー法」の講義をしていただきました。先生方も日々教材研究に取り組み、授業の工夫・改善を図っています。



マナー教室

9月13日(木)

2年生で10月10日(水)~12日(金)に行われる職場体験実習に向けて、元CAの齋藤貴子様を講師として、マナー教室を行いました。

本物に学ぶ - オリパラ教育

ランニング教室 ボール投げ教室 パラリンピアンに学ぶ

高野進氏 今浪隆博氏 芦田創氏
9月12日(水) 2年 9月14日(金) 1年 9月15日(土) 全校



動いて - 考えて - また動く



投げる前に、まず投げる姿をイメージする

市内一斉学校公開

9月14日(金) 15日(土)

14日(金)には、ボール投げ教室(1年)や近隣小中交流会(わかば)が行われました。15日(土)には、オリパラ講演会「パラリンピアンに学ぶ」(育成会合同研修会)・学区選択説明会・進路セミナー「卒業生と語る会」(3年)が行われました。悪天候の中、多数の保護者・児童に来校していただき、ありがとうございました。



心肺蘇生講習(2年)

9月21日(金)



10月号では生徒会本部役員選挙・認証式等、新役員の紹介を掲載します!



友人から誕生日プレゼントとしてもらったこの本。つい先日サッカー日本代表を引退を長谷部誠選手の著書です。この本には、日本代表のキャプテンとして、そして海外のチームで一流の選手たちとプレーする選手としての心構えや気をつけなければいけないことがたくさん記されています。数ある言葉のうち私が一番好きな言葉は「運を口説け」という言葉です。「運が良かったから勝てた」という言葉をよく耳にしますが、長谷部選手は「運は努力している人にしか向いてこない。運を口説くように努力しなくてはならない」と言っています。「心を整える」という題の通り、様々なことを気をつけながら生活を送っている長谷部選手の言葉は、サッカーをやっていない私でも共感出来る部分が多く、是非みんなにも読んで欲しい本です。

